

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成17年12月2日(2005.12.2)

【公開番号】特開2004-213848(P2004-213848A)

【公開日】平成16年7月29日(2004.7.29)

【年通号数】公開・登録公報2004-029

【出願番号】特願2003-2759(P2003-2759)

【国際特許分類第7版】

G 1 1 B 7/0045

G 1 1 B 7/125

【F I】

G 1 1 B 7/0045 A

G 1 1 B 7/125 C

【手続補正書】

【提出日】平成17年10月14日(2005.10.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

記録可能型光ディスクの記録面に記録信号で変調された記録用レーザ光を照射してマーク長記録方式でピットおよびランドを交互に形成して情報の記録を行う際に、記録速度倍率および形成すべきピット長に応じて記録パワーのレーザ光の照射開始タイミングを補正する方法であって、

光ディスクに所定記録速度倍率以上の速度で記録する場合であって、ピットの直前のランド長が同じときは、長いピットを形成する場合は、短いピットを形成する場合と比べて前記記録パワーのレーザ光の照射開始タイミングを遅らせ、

該光ディスクに前記所定記録速度倍率よりも低速で記録する場合であって、ピットの直前のランド長が同じときは、長いピットを形成する場合は、短いピットを形成する場合と比べて前記記録パワーのレーザ光の照射開始タイミングを早める光ディスク記録におけるレーザ光照射タイミング補正方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

【課題を解決するための手段】

この発明の光ディスク記録におけるレーザ光照射タイミング補正方法は、記録可能型光ディスクの記録面に記録信号で変調された記録用レーザ光を照射してマーク長記録方式でピットおよびランドを交互に形成して情報の記録を行う際に、形成すべきピット長に応じて記録パワーのレーザ光の照射開始タイミングを補正する方法であって、光ディスクに所定記録速度倍率以上の速度で記録する場合であって、ピットの直前のランド長が同じときは、長いピットを形成する場合は、短いピットを形成する場合に比べて前記記録パワーのレーザ光の照射開始タイミングを遅らせ、該光ディスクに前記所定記録速度倍率よりも低速で記録する場合であって、ピットの直前のランド長が同じときは、長いピットを形成する場合は、短いピットを形成する場合に比べて前記記録パワーのレーザ光の照射開始タイ

ミングを早めるものである。これによれば、高速記録対応光ディスクに低速記録する場合の記録信号品位の低下を防止することができる。